



市報

あまがさき

7

令和6(2024)
No.1700

ナニモノ?

SHIRAGA

KAZUO

特集
p2-5

PICK UP!

P6

台風シーズンは特にご注意を
高潮から命を守るために

P10

令和5(2023)年度のごみの排出状況について
順調にごみの量は減少! 引き続き減量にご協力を

電子版(抜粋版)も配信中!



QR Translator.



15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)



「天雷撲天雕」昭和38(1963)年 尼崎市所蔵

白髪は、足で絵を描くことで有名な画家。天井からつるしたロープにつかまり、床に置いたキャンパスの上に大量の絵の具を置いて縦横無尽に滑走する「フット・ペインティング」という独自の画法を確立したことで知られています。

描く画家

足で



昭和30(1955)年に前衛美術家集団「具体美術協会」に参加。リーダーの吉原治良による「人のまねをするな」「これまでになかったものを創れ」という言葉に触発された白髪は、自由な発想で新しい美術表現の可能性を探ようになります。同年10月には東京で行われた展覧会で、1トンの泥の中に飛び込み格闘するアクション「泥にいどむ」を発表。足で描く絵画のみならず、全身を使ったパフォーマンスも注目を集めました。

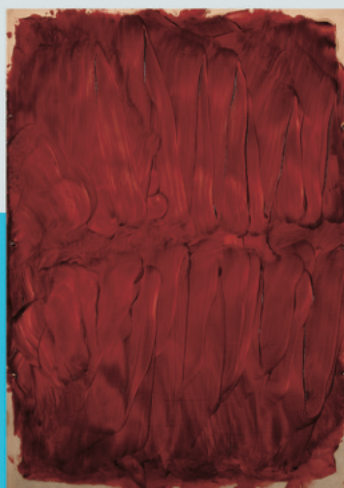


「泥にいどむ」昭和30(1955)年

「人のまねをするな」

ナマコみたいな絵？

京都市立絵画専門学校(現：京都市立芸術大学)で日本画を学び、卒業後に洋画を勉強していた白髪は、書き損じた絵の、油絵の具をこそぎ落とす際に偶然できた流動的な模様に触発され、抽象画の制作を開始。その後、ほかの現代美術家との交流の中で、既存の絵画の枠を飛び出した、「構図」や「色彩」といった概念さえも否定する「ナマコみたいな絵」が描けないかと考えました。ここから絵の具を大量に使った、迫力のある新鮮な絵を追求し、ついに素足で画面に踏み込み、思いのままに描く独自の技法が生まれました。



「作品III」昭和29(1954)年 横須賀美術館所蔵

ナニモノ？ SHIRAGA KAZUO

特集

今年、生誕100年を迎える白髪一雄。尼崎出身の世界的画家ですが、意外と知らない人も多いのでは？
そのすごさと内面に迫ります

ID 1035140

岡文化振興財団 ☎ 6487-0806 6482-3503

休 7月9日(火)・16日(火)・30日(火)、8月13日(火)、9月3日(火)・17日(火)



具体美術協会がフランスの美術批評家ミシェル・タピエに評価されたことを機に、白髪はパリの画廊に毎年作品を送る契約を締結。その後もアメリカやイタリア、オランダ、フランスなどで開催された国際芸術祭や展示会に数多く参加しました。

また近年でも、平成25(2013)年にニューヨークのグッゲンハイム美術館で具体美術協会の展覧会が開催されて以降、国際的評価が高まり、欧米のオークションでの作品価格の高騰ぶりが話題になりました。

海外で
めつつや評価

パリの画廊主と共に
(中央は妻・富士子)



「けんか祭り」がルーツ？

白髪の幼少期の記憶は作品に影響を与え、具体美術協会の吉原から「君の絵は尼崎そのものやな」と評されるほどでした。特に貴布禰神社で毎年開かれる夏祭り(通称けんか祭り)の、何台ものだんじりが宮入りを競う強烈な光景に白髪は強く影響を受けたと言われています。



尼崎

育ちも

生まれも

白髪は尼崎で呉服店を営む家の長男として生まれました。第三尋常小学校に入学し、その後新設された竹谷尋常小学校に編入。昭和32(1957)年～35(1960)年には図画工作の教師として成文小学校に勤務しました。その後も本市で制作を続け、昭和40(1965)年度尼崎市民芸術賞を受賞。尼崎市教育委員を務めたほか、本市に多数の作品を寄贈するなど地域へ貢献しました。



「行為にこそ総てをかけて」

7.27^{SAT}–9.23^{MON}

📍 総合文化センター



「天空星急先鋒」

昭和37(1962)年 兵庫県立美術館所蔵

白髪が映画撮影のため来日していたアメリカ人俳優の前で描いてみせた作品です。画面を勢いよく斜めに貫く線が目を引きま



「赤い材木」

昭和32(1957)年 東京都現代美術館所蔵

数少ない立体作品の一つ。「パフォーマンス」「インスタレーション」といった言葉が美術用語ではなかった時代に、頑丈な材木を斧で切りつけ、ダイナミックな行為の痕跡を残そうとした実験的な作品です。

白髪の若い頃から晩年までの作品を観ていただける記念展。エネルギーな作品のみならず、中央商店街にあった実家「本市呉服店」の資料や、同店2階のアトリエの再現など、白髪が暮らした昭和の尼崎のまちの雰囲気も楽しんでください。

文化振興財団
学芸員
妹尾綾さん



白髪は西本町に生まれ、城下町の風情を残しながらもモダンイズムの雰囲気을併せ持つ本市で育ち、制作活動을続けました。白髪とゆかりの深い市内のスポットを紹介しします



白髪が入学した小学校。当時は木造校舎だった。現在の建物は昭和12(1937)年に建てられ、登録文化財。



商売繁盛の神を祭る「尼のえべっさん」。大鳥居の刻銘板に白髪の父・信次郎の名が。



白髪の祖父・久吉が開業。白髪はここの2階をアトリエとして活用した。

1 木市呉服店

見るだけじゃない！ 生誕100年記念関連イベント

☎文化振興財団美術担当☎6487-0806 FAX 6482-3503・事業担当☎6487-0910 FAX 6482-3504 休3ページ参照

常行三昧 Jogyo Zanmai

7月20日～9月23日午前10時～午後6時、A-LABで、白髪^{ひえい}が比叡^{ひえい}さんで体験した修行になぞらえた、3人の作家による企画展を。7月20日(土)午後1時～6時、制作風景の鑑賞も。☎A-LAB☎7163-7108(休火曜日)

ゆかりの地まち歩きツアー

8月4日(日)・9月8日(日)午後2時30分～4時30分。**先**各20人**申**7月6日から各開催日の2日前までに電話が直接美術担当

フット・ペインティング体験 尼崎の画家・白髪一雄を学ぼう

8月7日(水)午前10時～正午、中央北生涯学習プラザで、**図5** 歳児～小学生。保護者同伴で**先20人** **甲** 7月5日～8月5日に電話が直接美術担当

記念シンポジウム「SHIRAGAを語る」

8月12日(月)午後1時～3時30分、アルカイックホール・ミニで、国内外研究者のディスカッションを。**先100人申**7月6日～8月10日に電話か直接美術担当

声優朗読劇 フォアレゼン

「アクション・ペインター白髪一雄」

8月25日(日)午後2時30分から、あましんアルカイックホール・オクトで、速水奨や戸谷菊之介らによる朗読劇を。**先**30人**¥**6000円～7000円**申**7月5日から電話が直接事業担当

白髪一雄の好奇心 林葵衣十

8月31日～9月23日午前10時～午後5時、総合文化センター2階で、白髪一雄現代美術賞の受賞者による展覧会を。●美術担当

白髪家は本興寺一乗院の古くからの檀家^{だんか}さんで、白髪先生ご自身もお盆やお彼岸、法要の際には奥さんと一緒にこちらへお越しになるなど、交流がありました。

命日にお経を上げるために、ご自宅へ伺った時は、いつも帰り際に姿が見えなくなるとまで奥さんと一緒にお辞儀をしてくださっていました。私の子どもの話をする時と、「ぼつちゃん、うちへ遊びに連れて来てください」と言われ、子どもにいろんなものを見せてくださったたり、かくれんぼで遊んでくださったたりして「こんな一面もあるんだ」と驚いたことを覚えていただきます。また、個展やパフォーマンスで海外に行った時は必ずお土産をくださったことも印象深いです。とても人情に厚く、親しみやすいお人柄でした。

先生は仏教用語でいう末
那識・阿頼耶識、つまり深層
心理をキャンバスに表現する
ことにチャレンジするため
に、足で絵を描いていると
伺ったことがあります。お人
柄とは対照的に、荒々しいイ
メージの作品が多いのは、心
の奥底がフット・ペインティ
ングという画法と合わさって、
あふれ出ているからなのかも
しれませんね。

阪神・淡路大震災で一乗院
は全壊しましたが、先生は一
乗院が復興した際に、絵を寄
進してくださいました。いつ
も心を無にしてから作品を
描く先生が、この絵を描く時
は、お経を長く唱え、精神を
統一してから描かれたと聞き
ました。ほかの作品とは異な
る、まさに一乗院の宝です。

「生誕100年記念 白髪一雄
展」に出展しますので、ぜひ
ご覧ください。

実際はどんな人だった？

生前交流のあった本興寺一乗院前住職
齋藤 舜貽しゆんたいさんにお話を伺いました

